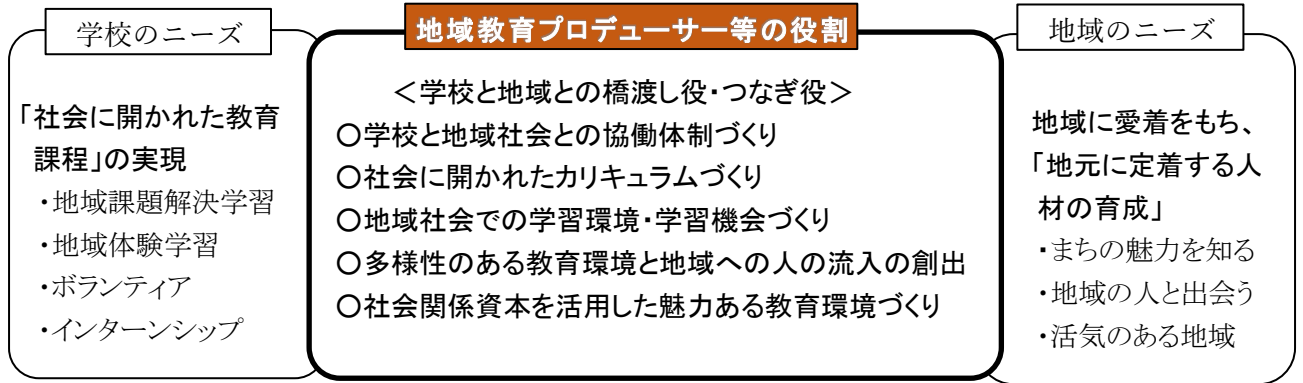


令和5年度「地域教育プロデューサー配置支援事業」 事業説明資料

1 「地域教育プロデューサー配置支援事業」とは

市町が地域おこし協力隊制度の活用により、地域教育プロデューサー及び地域教育協力隊を配置する。県が育成・養成、ネットワーク構築、サポートを実施し、地域教育プロデューサー等の配置支援を図る。

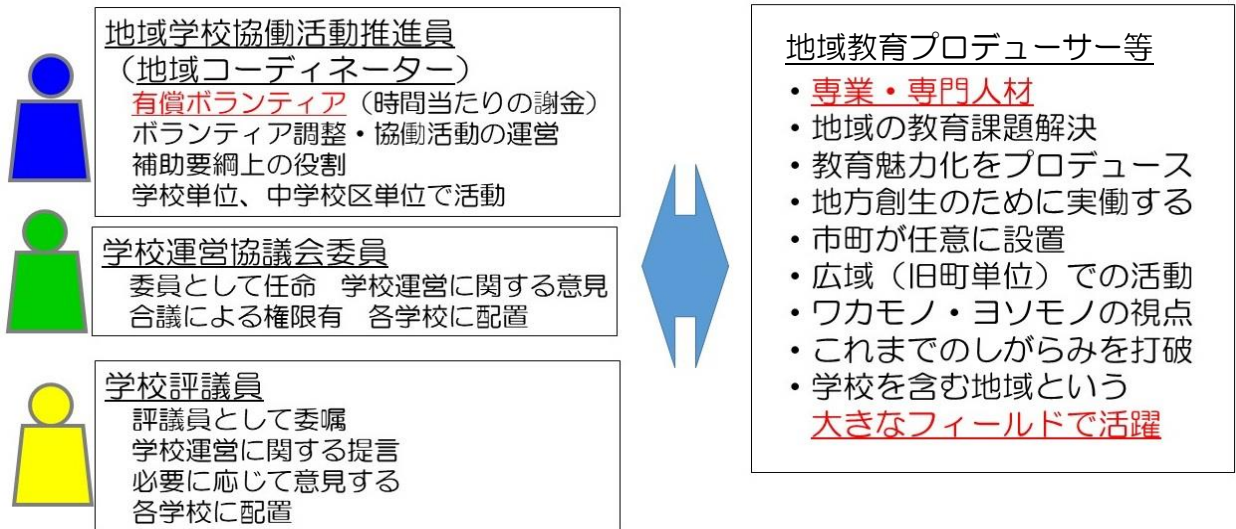
2 本事業のねらい



「社会に開かれた教育課程」の実現を目指す学校と、「地元に着する人材の育成」を求める地域の橋渡し役・つなぎ役として、市町が「地域教育プロデューサー」等を配置する事業の支援を行い、「学校を核とした地域づくり」「教育の魅力化による地方創生」「地元に残る人材の育成」を推進し、教育の魅力化による地方創生の取組を県が支援する。

3 「地域教育プロデューサー」等の特性・役割・業務内容

(1) 地域教育プロデューサー等の特性



(2) 地域教育プロデューサー等の役割と業務内容（例）

各市町、各地域に配置される地域教育プロデューサー等は、地域の教育課題に応じた業務にあたることから、業務内容は一律ではなく、多様であることを前提に、業務例を参考に列挙する。

	大分類	小分類	業務内容(例)
1	学校と地域社会（地域住民、行政、企業、NPO等）との協働体制づくり	協働体制を構築するための組織づくり、運営、評価	既存の地域組織（守り育てる協議会、学校運営協議会、学校評議員会、公民館運営審議会等）への参画、新たな地域コンソーシアム構築・運営・関係者との調整など
		ビジョンや目標の見える化・事業計画の策定支援・遂行支援	アンケート調査やデータ分析支援、地域のビジョンや目標・事業計画の策定支援、ワークショップや熟議の企画・運営、地域における学びの場づくりなど
		地域人材の発掘や教育資源の収集・整理	地域住民の要望や意見の収集・分析、地域教育資源や課題の把握・分析、人材バンクの構築、企業・団体・NPO等教育支援データバンク構築、産業界と地域の架け橋など
2	社会に開かれたカリキュラムづくり	学校や地域の特色を生かした教育課程やカリキュラム策定支援	教育課程における探究型学習の計画支援、郷土学・ふるさと学・地域学の構築支援、外国語教育等に特化した教育プログラム推進支援、学校との連携による特色あるカリキュラム策定など
		地域内外の企業や関係機関との連携した事業の推進・支援	えひめジョブチャレンジU-15協力企業との調整、キャリア教育プログラム作成、インターンシップや商品開発等における学校と企業の連携・調整など
		授業や特別活動、部活動等の課題解決型学習の実施支援	総合的な学習の時間・探究型学習の実施支援、郷土学・ふるさと学・地域学の実施支援、特別活動や部活動における外部人材との連携・調整など
3	地域社会での学習環境・学習機会づくり	放課後や休日等の学びの場、公営塾・未来塾設置等の環境整備	放課後の学習・体験活動運営、休日や長期休業中の学習・体験活動企画・運営、公営塾や未来塾設置・運営、地域人材の発掘・調整・コーディネート、地域学校協働活動推進員など
		児童生徒の地域ボランティア等活躍機会の創出	中高生の地域貢献活動のプロデュース、児童生徒の地域ボランティアの募集・参加調整、児童生徒の地域活動の伴走、公民館活動における中高生の活躍機会創出など
		地域における児童生徒と地域住民の交流の場づくり	伝統芸能継承活動支援、地場産業・特色のある産業の体験の場づくり、大人と子どもがともに学ぶプログラム創出など
4	多様性のある教育環境と地域への人の流入の創出	地域外から児童生徒を呼び込む制度の設計・運営支援	児童生徒募集方針の策定支援、説明会や広報などの募集戦略の設計・実施、全国募集を行う高等学校の支援、入学者と地域を結ぶコーディネート、外国との交流の場づくりなど
		地域外からの児童生徒等受け入れの環境整備	里親さがしや寮運営支援、寄宿舎生・寮生の指導、自治体移住支援部局や移住支援団体との連携など
		高校生、卒業生と学校や地域をつなぐ機会の設計・運営	中学校の卒業生・高校の卒業生と地域をつなぐプログラム等の設計・運営、卒業生ネットワークの構築など
5	社会関係資本を活用した魅力ある教育環境づくり	既存の団体や組織の活用・再編による教育環境整備	公民館・自治会・まちづくり組織・愛護班・PTA・青少年育成団体等の団体の教育活動への活用やプラットフォーム構築など
		外部人材の確保・活用の促進	大学生の活用、外部ボランティアの活用、外部団体やNPO・専門家との連携による人材活用、カタリバ事業（子どもと大人の出会い創出事業）など
		外部機関と連携した新たな教育活動整備	大学や民間企業等と連携した新規事業の設計・運営、各種検定試験（漢検、英検、ICT検定等）実施、イングリッシュキャンプ企画・運営、特別講座の開設など

(3) 愛媛県各市町地域教育プロデューサー・地域教育協力隊の活動内容

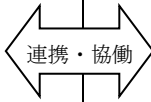
市町名	活動内容
松野町	<ul style="list-style-type: none"> ・町内及び近隣小中学校への出前授業 ・電子工作・プログラミング教室開催 ・愛媛大学と連携して農作業ロボットを開発 ・俳句を通じた地域理解への取組及び国語教育
東温市	<ul style="list-style-type: none"> ・東温市地域学校協働活動推進員として、学校・家庭・地域連携推進事業に参加及び協力
西予市	<ul style="list-style-type: none"> ・市内高校の魅力化、コーディネート業務（地域協働） ・地域教育の推進 ・学校、地域の連携推進・放課後子ども教室講師 ・市内県立高校公営塾の企画・運営 ・児童・生徒の課外学習支援・伴走 ・児童及び生徒・学校・地域のニーズを踏まえた教育に関するプログラムの開発支援、実施 ・総合学習や探究活動の支援・講師マッチング
内子町	<ul style="list-style-type: none"> ・県立高校の教育魅力化推進 ・内子町 I C T 教育支援全般
伊予市	<ul style="list-style-type: none"> ・双海町翠地区ほたる保存会（環境教育） ・伊予市グリーン・ツーリズム推進協議会（体験活動） ・地域教育実践ネットワークえひめ実行委員 ・一般社団法人えひめ暮らしネットワーク参事
鬼北町	<ul style="list-style-type: none"> ・県立高校の高校魅力化の支援、推進 ・町内公営塾の運営
上島町	<ul style="list-style-type: none"> ・県立高校の高校魅力化の支援、推進 ・県立高校魅力化コーディネート業務 ・町内公営塾の運営、学校・地域連携
久万高梁町	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の自然や文化を取り入れた総合学習や探究活動の支援 ・教員のための課外学習支援、伴走
松山市	<ul style="list-style-type: none"> ・「食」に関するイベントの企画・運営 ・小中学校、高等学校の授業支援 ・地域団体と連携して特産品開発

(4) 教育に関するミッションを主にしている地域おこし協力隊の活用の事例（他道府県）

- ・子育て基盤整備推進員
- ・生涯学習サポート隊員
- ・高校生つながり発展事業推進
- ・国際交流事業の授業サポート
- ・小中学校の授業支援や個別指導
- ・高校魅力化プロジェクト推進員
- ・美術館の運営と図工教育の支援
- ・山村留学センターにおける生活指導
- ・コミュニティ・スクール運営業務
- ・図書館主催事業への協力
- ・高校生のキャリア相談員
- ・コミュニティ・スクールへの提言
- ・中学校国語授業支援
- ・ふるさとキャリア教育プロデューサー
- ・図書を通じた言語力の向上
- ・被災地における仮設団地での夜間学習会
- ・町立図書室の図書貸し出しサービス
- ・学校魅力化推進員
- ・公設塾講師及び運営員
- ・公民館を拠点とした社会教育とまちづくり
- ・高校教育活動の広報活動
- ・公営塾の運営
- ・E S D推進員
- ・自然体験教育プログラム
- ・高校、短大と地域をつなぐコーディネート
- ・生涯学習講座の講師
- ・インターン、ボランティアコーディネーター
- ・探求の時間カリキュラム開発
- ・プログラミング教育や I C T 教育の推進員
- ・スポーツの指導員
- ・学習支援を通じた教育振興活動
- ・学校図書、町立図書館の運営
- ・コミュニティ・スクールの立ち上げ支援

4 本事業の役割分担と事業内容

(1) 事業主体ごとの役割分担

各市町・市町教育委員会	連携・協働	愛媛県教育委員会
◎特別交付税措置による予算化 ◎住居、活動拠点の確保 空き家等の活用、活動拠点設置 ◎会計年度任用職員 市町職員として委嘱 ◎各種研修への職員の派遣 ◎定着促進事業 起業支援・指導・伴走		◎事業計画・予算策定 各事業にかかる計画・予算等 ◎県地域政策課、市町、市町教委との連携 地域おこし協力隊導入・配置促進啓発事業等 市町の実態把握、支援 ◎配置促進啓発事業の実施 説明会実施、手引き作成、リーフレットの活用 ◎地域教育プロデューサーステップアップ研修の実施 研修会、情報交換会の企画・運営 ◎定着促進事業

(2) 事業内容

① 配置促進啓発事業

- 市町等対象事業説明会（年1回）
 - ・ 地域教育プロデューサー配置促進事業にかかる説明会を行う。
 - ・ 事業に関する相談・支援をする。
- 地域教育プロデューサー等活動の手引き作成及びリーフレットの活用
- 地域おこし協力隊募集説明会（県地域政策課との連携）
 - ・ 説明会において、教育分野の隊員を募集する。（募集市町参加）
 - ・ 県HP、えひめ移住ネットへの掲載、JOIN（移住・交流推進機構）のHPに掲載する。
 - ・ 首都圏・近畿圏大学及び県人会へのチラシ送付、東京・大阪事務所と連携したチラシ配布をする。等

② 地域教育プロデューサー等活動支援・ステップアップ研修事業

- 地域教育プロデューサー等ステップアップ研修会（年3回）
 - ・ 活動の拡充や連携・ネットワーク形成を図り、活動の定着や横展開、さらなる充実を図る。
 - ・ 地域教育プロデューサー、地域教育協力隊、地域おこし協力隊隊員、市町職員、学校関係者、団体、企業、NPO、地域教育関係者等が、県下全域から一堂に会して、他県の先進事例による研修やワークショップによる研修を行う。
 - ・ ビジョン策定や評価、起業に関する情報交換を行う。等
- 定期情報交換会（年3回程度）
 - ・ 活動が円滑に進むよう、現地において活動や運営の支援を実施する。
 - ・ 東・中・南予管内ごとに地域教育プロデューサー、地域教育協力隊が集まり、情報交換を実施する。
 - ・ 実施主体は、各教育事務所地域教育推進課社会教育グループとなる。
 - ・ 会場は、地域教育プロデューサー等が配置されている市町を巡回するなどして行う。

5 「地域教育プロデューサー」等任期後の定着支援

(1) 教育分野で起業・就業している事例の紹介

○ (例1) 一般社団法人

市全域をフィールドとし、地域教育プログラムを展開する法人

- ・ 中高生と地元の大人の交流と活動のイベント
- ・ 地域学校協働活動のコーディネート
- ・ 探求学習の支援、郷土教育に関する教材開発
- ・ 空き家を利用した中高生も利用できるコミュニティスペースの運営・管理
- ・ 行政・企業対象の人づくり事業
- ・ 市の委託授業受託
- ・ 公共施設の指定管理者 等

- (例2) 株式会社
 - 地域と産業と学校教育を近づけるキャリア教育を提供する法人
 - ・教育オンラインサロン探求学の企画・運営
 - ・教育旅行・研修旅行プログラム開発
 - ・修学旅行受け入れ実施
 - ・総合的な学習の時間のキャリア教育プログラム
 - ・中高生向けの起業家教育プログラム
 - ・大学生インターンシップの受け入れ
- (例3) 株式会社
 - 地域課題解決のための事業づくりと人材育成を生業にした法人を立ち上げ、町と共同でプロジェクト実施
 - ・子どものいる家庭のサポートビジネス
 - ・教育分野のICT支援
 - ・プログラミング学習の教材開発と授業実施
 - ・21世紀型地域教育ビジネスの展開
 - ・未来づくり起業塾の経営
 - ・中高生向け地域づくりプロジェクト
- (例4) NPO法人
 - 民間教育機関がない町で、民営の塾を立ち上げ、小中学生対象の学習を実施
 - ・教科学習の指導
 - ・探求学習（学ぶ内容から成果実施まで個別に対応）
 - ・ICT機器と地域人材を活用した地域学習
 - ・長期休業中の学習支援
 - ・自習スペースの運営
- (例5) NPO法人
 - 地元の子どもの学びを保障するために、地域のヒト・モノ・コトを結びつけ、地域活性化を図る法人
 - ・社会教育・生涯学習事業の受託
 - ・地域未来塾の運営受託
 - ・放課後子ども教室事業の運営受託
 - ・中高生のキャリア教育プログラム
 - ・県立高校の公営塾支援
 - ・子どもの体験活動プログラム実施
- (例6) 一般社団法人
 - 県全域をカバーし、教育と社会と地域にイノベーションを起こす法人
 - ・教育による地域創生のモデル事業づくり
 - ・持続可能な社会のつくり手を育む教育システムづくり
 - ・教育魅力化に関わる人材募集・派遣事業
 - ・地域創生を学ぶ大学生と地域のコーディネーター

(2) 起業・就業に係る支援制度等

- 地域人材起業支援事業（県地域政策課）
 - ・ 地域おこし協力隊の定住促進と地域等の活性化を図るため、地域おこし協力隊（OB・OG含む）が県内で起業又は事業継承するための経費を支援する。
 - 募集時期 4月
 - 対象経費 設備・備品費、知的財産登録費 等
 - 採用枠 5件程度
 - 補助率 1/2以内（市町補助額に対し）
 - 補助限度額 50万円
- 地域ぐるみで育むえひめっ子未来創造事業（市町等）
 - ・ 市町が、コミュニティ・スクールの導入に伴って新たな拠点で実施する地域学校協働活動の経費のうち、1/3を県が補助事業として負担するもの。
 - 「地域学校協働活動推進員」
 - 有償ボランティア（時間当たりの謝金）
 - ボランティア調整・協働活動の運営
 - 補助要綱上の役割

学校単位、中学校区単位で活動

○ えひめ暮らしネットワーク(一般社団法人)

- ・ 愛媛県内の現役隊員OB・OG等が情報を共有できる場を構築し連帯強化を図ることで、「人が人を呼ぶ好循環」を全県的に生み出していくことを目指し、えひめ移住コンシェルジュ(県集落支援員)及び地域おこし協力隊OB・OGにより、令和2年に設立された。

具体的な活動実績 地域おこし協力隊の定着促進、地域版移住コンシェルジュ、えひめ暮らし仕事体験の実施、テレワーク移住者の誘致促進

6 令和4年度事業説明会、研修会を終えて

市町等対象事業説明会(R4.6.9)

【市町担当者から】

- ◎ 西予市における地域協力プロデューサーの業務内容、取組にあたり当初困難だったことが分かり大変参考となった。
- ◎ 今回は地域政策課の方にも来ていただき、地域おこし協力隊についての説明をしていただいたことは、連携する上での大きな一歩だと思う。
- ◎ 今回の説明対象を(現・元)地域おこし協力隊に向けてとするか、配置を進める行政向けか、またその両方かによって、内容について伝え方が変わってくるのかなと思うが、今回はそのどちらに対しても参考になるものであったと感じた。
- ◎ とても参考になった。西予市の事例はとても素晴らしい協力隊員さんが試行錯誤されながら奮闘していることがよく分かった。もっと活動の詳細を伺ってみたい。

【地域おこし協力隊から】

- ◎ 教育に特化していなければならないのかと思っていたが、そうとばかりとはいえないようで自分のキャリア(私の場合は俳優だが)でできる活動があるのではないかと感じられた。

令和4年度「地域教育プロデューサー配置支援事業」市町等対象事業説明会

【事例発表】

地域 × 教育

～せいよ地域おこし協力隊の取組～

- 西予市まちづくり推進課 係長 片山 大輔 氏
- 西予市地域教育プロデューサー 土居 千草 氏 (せいよ地域おこし協力隊/公営塾・高校魅力化)
- 西予市地域教育プロデューサー 染田 麻弓子 氏 (せいよ地域おこし協力隊/野村地域自治振興協議会)

令和4年度第1回ステップアップ研修会(R4.9.5)

【市町担当者から】

- ◎ 行政主体の事業に地域おこし協力隊が関わる事例を聞くことができ参考になった。具体的な事例紹介が、実際に取組を行う上で参考となった。
- ◎ いろいろな立場、役職の方々が参加していたが、それぞれが地域おこし協力隊等による本事業のねらいや意義、効果がよく伝わる講演であった。地域教育や地域づくりを推進していくために、地域おこし協力隊制度を活用する価値を考える機会となった。もしかすると市町教育委員会担当者が今後、教育に関わる地域おこし協力隊の配置を要望する機会となったかもしれない。

- ◎ 双海地区の熱心な取組が広まっていけばいいと思う。県下の実情が違うとはいえ、地域の活性化、持続化のためには、動き出すことが必要だなと感じた。また、本多さん、伊予市の方がおっしゃっていたとおり、公民館の役割は大きく、連携が必要だと思った。そのために、もっと社会教育(特に公民館)に携わる方にも参加していただけたらいいと思う。

【地域おこし協力隊から】

- ◎ 着任1か月で不安があったが、自分の目指すところが間違っていなかったという安心感をもらった。「地域と学校をつなぐことで、楽しそう、幸せそうな大人の姿を生徒に見せることの重要性」や「自分を知っている地域の方が長く居ると子どもたちが戻ってきやすい」が強く印象に残った。本多さんの成功例、また楽しまれながら取り組んでいることに勇気・やる気をいただいた。

令和4年度「地域教育プロデューサー配置支援事業」

第1回地域教育プロデューサー等ステップアップ研修会

第1回情報交換会

●テーマ 「地域教育プロデューサー・地域教育協力隊の可能性とネットワークづくり」

開催日時 令和4年9月5日(月) 13:30~16:10 (受付13:00~)

会場 松前総合文化センター 2F ふれあい展示室 (伊予郡松前町大字堀井633)

●参加対象者 地域教育プロデューサー、地域教育協力隊、教育に関連した地域おこし協力隊隊員、本事業に興味・関心のある地域おこし協力隊隊員(OB・OGを含む)、市町・市町教育委員会関係職員、公民館関係者等

●申込み締切 令和4年9月18日(木)

●申込方法・申込先 別添参加申込書を、下記担当者までメールにてお申込みください。

●感染症対策等 会場では、マスクの着用や換気、アルコール消毒、参加者の体調把握などを徹底します。(別添「出席確認票」を御持参ください。) ※開催方法等に変更が生じた場合は、メールにて御連絡します。

【講演】「地域の笑顔を増やしたい」

えひめ移住コンシェルジュえひめ暮らしネットワークは、えひめ移住コンシェルジュ「地域おこし協力隊」が中心となり、「愛媛県自分らしく暮らし働く人達をつなぎ、支えるネットワーク」を構築し、愛媛県全体の移住定着、地域おこし協力隊や移住者のフォロー、ローカルビジネスを担う方々のためのバックアップに取り組んでいる。

一般社団法人えひめ暮らしネットワーク 代表理事 えひめ移住コンシェルジュ Yoshio Itagaki 板垣 義男 氏

Masahiko Honda 本多 正彦 氏

伊予市地域教育プロデューサー (伊予市地域おこし協力隊) 一般社団法人えひめ暮らしネットワーク 理事

東京都出身。長らくテレビ番組などの映像制作に携わり、2013年に地域おこし協力隊として神川川よみ伊予市双海地区に移住。生活し、現在に至るまで「地域に笑顔を増やす活動」として、移住支援や公民館活動支援など、学校・地域・町内会・地域外などをつなぐ様々な活動を行う。2020年より一般社団法人えひめ暮らしネットワーク理事として、県内協力隊のサポートや移住相談員としても活動中。

令和4年度第2回ステップアップ研修会 (R4.12.12)

【市町担当者から】

- ◎ 大野さんぐらいのパッションがないと「教育で稼ぐ」というのは、なかなか難しいことだと痛感した。地域、企業、行政が協働していかないといけないし、そこへのアプローチ、行動力を持たなければいけないと反省している。「常にアンテナを張る」、簡単なようで難しい!

【地域おこし協力隊から】

- ◎ 実際に教育分野で起業されている方の話を聞ける貴重な機会だった。
- ◎ 周防大島で叩き上げてやってきた大野さんの話は、たいへん面白く、ジャンケンポン理論など包み隠さずお話して下さってとても刺激を受けたし、勉強になった。

【学校関係者から】

- ◎ 愛媛県の教員として新たな仕事を創ることへのモチベーションにつながった。
- ◎ 起業について理念だけでなく、現実的なことも考える必要があることを学ぶことができた。

令和4年度「地域教育プロデューサー配置支援事業」
**第2回地域教育プロデューサー等
 ステップアップ研修会**
第2回情報交換会
 テーマ **「地域教育プロデューサーの強みと未来を描く」**

<p>PROGRAM</p> <p>13:30 開会行事 (5分)</p> <p>13:35 講演・ワークショップ (90分)</p> <p>15:05 (休憩)</p> <p>15:20 情報交換タイム (60分)</p> <p>16:20 閉会行事 (10分)</p>	<p>令和4年12月12日(月)</p> <p>開催日時 13:30~16:30 (受付13:00~)</p> <p>会場 松山市青少年センター 3F 大ホール (松山市築山町12-23)</p> <p>参加対象者 地域教育プロデューサー、地域教育協力隊、教育に関連した地域おこし協力隊隊員、本事業に興味・関心のある地域おこし協力隊隊員(OB・OGを含む)、市町・市町教育委員会関係職員、学校関係者、大学生等</p> <p>申込み締切 令和4年11月25日(金)</p> <p>申込方法・申込先 別途参加申込書を、下記担当者までメールにてお申込みください。</p> <p>感染症対策等 会場では、マスクの着用や換気、アルコール消毒、参加者の体調把握などを徹底します。(別途「出席確認書」を御持参ください) ※開催方法等に変更が生じた場合は、メールにてご連絡します。</p> <p>※お申込みの方は、必ず当日駐車場に停めてください。ただし、詰め込み駐車となり自費に際する場合がありますのでご注意ください。</p> <p>講師：Keiji Ono 大野 圭司 氏 株式会社ジブノオト 代表取締役 / キャリア教育デザイナー</p> <p>講演テーマ 「地域教育プロデューサーの『技』と『起業プラン』を密く ~100年続くふるさとを目指して~」</p> <p>高齢化率日本一の時に可能性を見出し、15歳で「高おこし」を志す。中3の日記に「結婚するぐらいになって暮らして来て事業をおこすと書いたこと思い出し、26歳で東京から山形へ移り、30歳の時、母校の復校を呼びかけ、若者のリターンを促すためには、地域志向の学校教育が必要だと感じ学校ボランティアへ登録。31歳から、周防大島立東中学校で地域をベースにしたキャリア教育を開始。35歳で株式会社ジブノオトを設立し、教育を仕事にする。これまで、山口・広島・岡山を中心に13,000人以上の中高生・大学生にキャリア教育を実施。1978年山口県周防大島生まれ。趣味はSUP、トレーニング、バイクめぐり。妻をこよなく愛する。4児の父。 (主な著書)『起業術』~自分の技で輝ける子供の育て方(かぞの文庫)</p>
---	---

令和4年度第3回ステップアップ研修会 (R5.2.14)

【市町担当者から】

- ◎ 大変勉強になった。制度を上手に活用して、高校の独自性や魅力を創出したことは素晴らしいと思う。
- ◎ 小田高が廃校を回避するために広報活動に力を入れたこと、そこに子どもが集まったこと、それに地域が積極的に関わってくれたこと一連の流れが成功につながっていて素晴らしいと思った。

【地域おこし協力隊から】

- ◎ 教育を軸にしたまちおこしの効果を知った。やる人がいないだけで気概があれば誰でもできるという自信を持つことができた。
- ◎ 小田分校を支え協力できたのは、小田原さんが優秀であるとともに、内子町や小田分校の先生方、地域の方々の周りのサポートがあったからだと思う。

【学校関係者から】

- ◎ 公営塾に特色を持たせる取組があるとは1と驚いた。高校のキャリア教育が地域の活性アップとしっかり連動していて、まち全体で相互リスペクトがある愛着と発展がつくり出されていることに感動した。

令和4年度「地域教育プロデューサー配置支援事業」
**第3回地域教育プロデューサー等
 ステップアップ研修会**
第3回情報交換会
 テーマ **「地域教育プロデューサーとともに描く地域の未来
 ~教育を軸としたまちづくりを考える~」**

<p>PROGRAM</p> <p>13:00 開会行事 (5分)</p> <p>13:05 講演 (80分)</p> <p>14:25 (休憩)</p> <p>14:40 活動報告 トークセッション (45分)</p> <p>15:25 (休憩)</p> <p>15:40 情報交換タイム (40分)</p> <p>16:20 閉会行事 (10分)</p>	<p>令和5年2月14日(火)</p> <p>開催日時 13:00~16:30 (受付12:30~)</p> <p>会場 エスポワール愛媛大学会館 2F 大ホール (松山市宿台1-5-33)</p> <p>参加対象者 地域教育プロデューサー、地域教育協力隊、教育に関連した地域おこし協力隊隊員、本事業に興味・関心のある地域おこし協力隊隊員(OB・OGを含む)、公民館関係者、本事業に興味・関心のある方等</p> <p>申込み締切 令和5年2月1日(水)</p> <p>申込み方法等の詳細については裏面をご覧ください。</p> <p>市内予備校・地域教育プロデューサー 小田原 希美 氏(私立内子高等学校 小田分校 教育実践力向上コーディネーター)の活動報告をもとに、講師の江森氏、日笠氏を交えてトークセッションを行います!</p> <p>講師：Mayako Emori 江森 真矢子 氏 一般社団法人まなびと 代表理事 (岡山県和気郡和気町教育委員会社会教育課 課長補佐 日笠 将吾 氏)</p> <p>東京都出身、国際基督教大学卒業後、大手学習塾グループで私立学校の広報、学習プログラムの制作・運営等を通じた能力づくり支援に携わる。2007年株式会社リクルートに転じ教育専門誌の編集者に。2015年4月より3年間、和気町に赴き、協働として岡山立立成高等学校の地方活性化を進めた際の活性化をミッションに活動。和気町まち・Dととして若年層有識者会議委員、総合的な学習の時間(岡谷学)の設計・運営等も務める。また、2017年度より津山市高齢者公民館、2018年度より岡山県西大寺公民館にて高校生受け入れプログラムのアドバイザー、2018~19年には文部科学省地域学校協働活動推進・調査研究員を務めた。</p> <p>現在、教育関係者等の編纂・ライティングを行うほか、和気町立高校および三浦県立新南高校のキャリア開発専門家をはじめとする教育関係者のコンサルティンク、研修講師、講演等の活動を行っている。 ◎編著書『地域協働による高校職能力ガイド-社会に開かれた学校をつくる』(2019年 和気町版) 『教育の未来 高度化・高度化を促す地域協働-地域をつなぐための高校教育』(2020年 宇野出版)</p> <p>◎協賛等 井都市とづくりアドバイザー、岡山県学習アドバイザー、岡山県アート地域づくり実践協議会、三浦県教育政策推進協議会 他</p>
---	---

7 本事業により期待される効果

(1) 子どもたちへの直接的な効果

- ・ 公営塾やえひめ未来塾、放課後子ども教室、学校の総合的な学習の時間へのかかわりにより、子どもたちの学びの機会が増加する。
- ・ 「教育による地方創生」に取り組み、成果を上げる若者と間近に接する機会を得ることで、子どもたちの学びに向かう意欲が向上する。
- ・ 地域住民を巻き込んだダイナミックな地域教育を受けた子どもたちが、地元への愛着を深め、地元へ回帰する人材となる。

(2) 地域教育関係者の意識・行動変容

- ・ 地域教育プロデューサー等のコーディネートにより、多様な主体が有機的に結び付き、地域の教育力の向上につながる。
- ・ 住民の主体的な教育活動への参加と子どもたちの地域活動への貢献のサイクルが生まれ、地域が活性化する。
- ・ 教育の魅力化が進む地域への若い世代や子育て世帯の移住が促進されれば、地域の維持・活性化につながる。

(3) 地域教育プロデューサー等の資質・能力向上

- ・ 地域教育の魅力化による地域創生に興味を持つ全国の若者にアピールでき、優秀な人材の獲得につながる。
- ・ 全国的に著名な講師や他県で成功している同様の人材を招聘した研修会が可能になり、ノウハウ獲得や課題解決が短時間で効果的にできる。
- ・ 地域教育プロデューサー等同士、他の教育実践者とのネットワークが構築され、地域における事業展開が広がる。

(4) 教育分野の起業による地方創生

- ・ 地域教育プロデューサー配置支援事業を活用し、教育分野の起業を成し遂げることで、新たな産業が創出される。
- ・ 教育を生業とした若者の移住の成功モデルが増えることで、教育の活性化と若者の定住という好循環が生まれる。